

The Twenty-fourth Concert.



とき／2013.12.23(月・祝)
開場 13:30 開演 14:00

ところ／磯子公会堂

ご挨拶

本日はアンサンブル・エンメ第24回定期演奏会にお越し下さいまして誠に有り難うございます。毎年秋口ともなると「ああ、また演奏会が近づいて来たなあ」と体に季節感として染み付いてきました。そして再び歌う事の出来る喜びを噛み締めています。この歌う喜びがハーモニーとなって皆様に伝わる様精一杯歌います。どうか最後までごゆっくりご観賞下さい。

アンサンブル・エンメ団長 曽我知央

◎ 第1ステージ指揮者 吹上千洋

「二十億光年の孤独」は昭和27年に出版された谷川俊太郎さんのデビュー作です。そして平成になり、木下牧子さんにより新たな息吹が吹き込まれました。これらの曲はとてもポピュラーで、クラス合唱やコンクールで歌ったり、聞いたりした方もいらっしゃるのではないかでしょうか。

思春期に感じる強烈な孤独感や居場所の定まらない浮遊感、叫びたくなるようなもどかしさ、そして目まぐるしい経験とあふれる思い出。今日は、そんな当時を懐かしく思い出していただけるよう、そして今、思春期の真っ只中にいる若者にはその背中をそっと押してあげられるような演奏をお届けしたいと思います。

◎ 第2ステージ指揮者 岸田智好

1960～70年代の演歌(歌謡曲)が合唱に編曲されました。J-POPや童謡・唱歌を編曲した作品は多数ありますが、演歌を素材にしたものはあまり見かけません。編曲者の信長さんご自身がおしゃっている「演歌と合唱は意外と親和性がある」ということ、自分にとつても新鮮な発見でした。

練習では、団員から今までにない類のテンションを感じることがあります。ヒット曲が持つ「メロディの力」に、団員も指揮者も引き込まれているかもしれません。

熱くクールに、エンメの新たな一面をお見せできればと思います。ご期待下さい。

◎ 第3ステージ指揮者 高田岳朋

人はいつの頃から、歌い始めたのでしょうか。人が言葉を持ち、思いを語り、伝える営みを続ける中で、声が言葉を越え、語りを越え、いつしか歌が生まれたのでしょう。歌うことで喜びをかみしめ、悲しみに寄り添い、理不尽に立ち向かい、人が人であることを謳歌してきたのでしょう。音楽の歴史の中で最も古く、数多ある音楽の中で唯一、人の言葉をのせ、人の声で奏でられる「うた」の世界はまさに、人が紡いできた歴史の営みの縮図であります。

今宵、親愛なるゲストの皆様とともに、人の声と「うた」の持つ唯一無二のエネルギーを感じ合うことができすれば、幸甚に存じます。

プログラム

1 混声合唱曲集「地平線のかなたへ」

- I 春に
- II サッカーによせて
- III 二十億光年の孤独
- IV 卒業式
- V ネロ 愛された小さな犬に

作詞: 谷川俊太郎
作曲: 木下牧子
指揮: 吹上千洋

2 混声合唱のための「アカペラ・エンカ」より

編曲: 信長貴富
指揮: 岸田智好

- I瀬戸の花嫁 作詞: 山上路夫 作曲: 平尾昌晃
- II長崎は今日も雨だった 作詞: 永田貴子 作曲: 彩木雅夫
- III大阪ラプソディー 作詞: 山上路夫 作曲: 猪俣公章
- IVブルー・ライト・ヨコハマ・たそがれ・伊勢佐木町 作詞: 橋本淳～山口洋子～川内康範
作曲: 筒美京平～平尾昌晃～鈴木庸一
- V北国の春 作詞: いではく 作曲: 遠藤実

休憩 (15分)

3 混声合唱アルバム「歌われて」

- I 私が歌う理由
- II 宿題
- III ありがとう
- IV ここ一あなたはそこに一
- V 歌われて

作詞: 谷川俊太郎
作曲: 相澤直人
指揮: 高田岳朋

出演メンバー

*ソプラノ

久保倉 あさ子
菅 原 陽 子
鷗 崎 典 子
吹 上 有 里
水 落 小葵子
三 宅 春 香
本 村 圭 子

*アルト

石 丸 美 奈
梶ヶ谷 朋 恵
栗 原 直 子
高 野 真理子
長 崎 佐知子
林 美 緒
平 戸 敦 子
村 田 香 織

*テノール

朝 戸 健太郎
岩 下 広 道
今 井 淳
奥 原 洋 人
岸 田 智 好
吹 上 千 洋
牧 仁 志
和 田 裕 康

*ベース

鈴 木 匠
曾 我 知 央
高 田 岳 朋
富 横 肅
平 戸 宏 典
藤 澤 俊 雄
古 川 源 太 郎

<ピアニスト紹介> 石 丸 美 奈

国立音楽大学教育音楽学科卒業 ピアノを池沢幹夫、石島悦子両氏に師事。

グループ「ピアノアンサンブル」にてピアノ連弾、二台ピアノの演奏会出演。

グループ「ミュージックブーケ」にて女性コーラス、オペレッタなどのコンサートで活動中。

フリーで声楽、管楽器などの伴奏でも活動中。

<ピアニストより>

木下牧子さんの曲は歌えば歌うほど楽しくなります。練習が進み歌詞がメロディに乗ってぐると曲が益々いきいきとします。「地平線のかなたへ」はどの曲も若さにあふれ私も元気を頂きました。調子にのって今年は「アカペラ・エンカ」の歌にも参加させていただきました。全部知っている曲なので大丈夫と思っていたらチャラパパパとかツクツンパとかドウビジュビドゥバーなどカタカナに大変苦労いたしました。足を引っ張らないよう頑張ります。



☆ アンサンブル・エンメは横浜市立南高校合唱部 OB/OG が主体となって 1988 年に発足した混声合唱団です。

☆ 団員募集中。見学／お問い合わせ大歓迎！初心者の方もお気軽にご相談下さい。

練習日：毎週土曜日 18:00～20:30

場 所：港南地区センター……市営地下鉄 港南中央下車 徒歩 5 分

笛下中学校…………市営地下鉄 港南中央下車 徒歩 10 分

团 費：一般 1,000 円／月、学生 500 円／月 入会金無料

曲 目：日本語合唱曲、ミサ、ポップスなどジャンルを問わず。

歌いたい曲を団員が持ち寄り、皆で話し合って決めています。

年齢層：20 歳代～40 歳代

☆ お問い合わせ先：曾我 知央(090-6492-4228)

ホームページ :<http://www13.ocn.ne.jp/~emme/>

